

「『現代生活』の編輯にたがひ、その限りの市民には合ふものがある。さういふ心で、皆の川を流して行くことが、人財教育の充実はじめ、居住環境の充実や文化・芸術の継承・発展も盛り込まれています。今、過激化が進んでいるのは、この３要素の欠落している所でありまして、この３つを全て充実にさせるために、共有の資源、資源とそれを管理する社宅としてコンモスという概念を打ち出しました。」

監の扱い等については、これも理解を得ていますが、その中でキメ細かな維持管理を著実にこなすことの意義の大切さ。とても地味なことです。この重要性も市民に理解されるように努めていきたいと思っています。

一斬新なアイデアや高理念を軸にした活発なご議論、有難うございました。